

2014年11月28日

## HOBIA NEWS No.311

### 目次

- HOBIA 食と健康研究部会セミナー開催報告
- 【日本食品分析センター】JFRL 講演会のご案内
- 冬季の省エネルギー・節電協力について
- HOBIA 会員著作発売のご案内

### ● HOBIA 食と健康研究部会セミナー開催報告

#### 【2014年度第1回 HOBIA「食と健康」部会セミナー 開催報告】

11月11日18時半より藤女子大学16条校舎5階553教室に於いて、HOBIA「食と健康」部会セミナーを開催いたしました。今回は、コスモ・バイオ(株)プライマリーセル事業部研究開発G長の平敏夫氏に「腸内細菌も含めた食の機能性評価」と題し御講演いただきました。細菌のメタゲノム解析による腸内細菌叢の解析から、近年急速に明らかになっているヒトと腸内細菌との関係について、最新情報をご講演いただきました。「食の機能性を論ずるときには、動物を「宿主と腸内細菌の共生体」としてとらえることにより、新たな食の機能性を引き出せると考えている」とは、今後の食と健康を考え上で示唆に富む言葉と感じました。参加者は11名(うち藤女子大学学生5名)でアットホームな雰囲気のもと、沢山の議論がわき起こり時間の過ぎるのも忘れた2時間で、大変有意義な会であったと思います。

第2回は1月を予定しております。

HOBIA 理事 藤女子大学教授 池田隆幸

### ● 【日本食品分析センター】JFRL 講演会のご案内

1. 日 時：平成26年12月9日(火) 14:00～17:20(13:30より受付を開始いたします。)
2. 場 所：札幌市教育文化会館 4階 講堂  
(札幌市中央区北1条西13丁目 TEL 011-271-5821)  
札幌市営地下鉄東西線「西11丁目」駅1番出口から徒歩5分  
アクセス <http://www.kyobun.org/etc/access.html>

#### 3. 講演テーマ及び講師

『食品の期限表示の設定について』

時間：14:10～15:40(講演80分/質疑応答10分)

講師：一般財団法人日本食品分析センター 東京本部

技術支援課 課長補佐 細野 真澄

講演要旨：食品の期限表示は、個々の食品の特性に配慮した上で食品の安全性や品質等を的確に評価するための客観的な項目(理化学試験・微生物試験・官能検査等)に基づき設定する必要があります。本講演では、食品の期限表示の設定に関する考え方及び保存試験の事例等を解説いたします。また、おいしく食べられる期限である賞味期限を設定される際に最も重要な項目となる官能検査について、弊財団における実施手順や評価方法をご紹介します。

『クレーム対策に役立つ異物検査 ～分析手法と事例の紹介～』

時間：15:50～17:10 (講演 70 分/質疑応答 10 分)

講師：一般財団法人日本食品分析センター 多摩研究所 応用試験課 山田 瑠美子

講演要旨：異物混入クレームは企業にとってスピードと慎重さが求められるデリケートな問題です。昨今は食品に限らず、化粧品・医薬品・飼料・工業用品と異物混入のクレームの幅はどんどん広がりをを見せています。本講演では一般的な異物検査の分析手法をご紹介しますと共に、異物混入の原因究明や発生防止に役立つ多くの事例をご紹介します。

4. 参加費 無 料

5. 申込方法

下記「23thJFRL 講演会参加申込書」にご記入いただき、以下の E-mail アドレス (又は FAX 番号) へご送付願います。

なお、E-mail をご連絡頂いた方には、今後、弊財団発行の情報宅配 食に関するトピックス を定期的に配信させていただきます。

6. 受付締め切り

定員は 130 名ですが、オーバーした場合は別途ご案内させていただいております弊財団のお客様を優先に受付させていただく場合があります。その際はご了承ください。

なお、受講可能な場合は、その旨の連絡は省略させていただきます。

7. その他

会場に駐車場はございませんので、ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

講演会に関するお問い合わせは、以下までお願いいたします。

担当：一般財団法人日本食品分析センター 千歳研究所 業務課 村上・福岡

E-mail：[jfrl5911\\_hkkouen@jfrl.or.jp](mailto:jfrl5911_hkkouen@jfrl.or.jp) (講演会受付専用アドレス)

TEL：0123-28-5911 FAX：0123-28-5921

【お申込書】 [23thJFRL 講演会参加申込書](#)

## ❶ 冬季の省エネルギー・節電協力について

北海道経済産業局より、「冬季省エネルギー・節電に関する協力」の要請が届きましたので、ご案内いたします。

冬季の省エネルギー・節電に関するご協力のお願いについて  
【北海道経済産業局】

関係政府機関で構成される省エネルギー・省資源対策推進会議省庁連絡会議(事務局：経済産業省)において、10月31日に「冬季の省エネルギー対策について」を決定しました。

本対策は、省エネルギー・節電に関する産業界等への周知・協力要請及び政府自らの取組について定めたものです。

平成26年度冬季の省エネルギー対策については、10月31日に決定された「2014年度冬季の電力需給対策について」と一体となる形で、省エネルギーに関する取組を推進する内容になっています。

つきましては、下記のURLをご参考に、皆様に無理のない範囲で省エネルギー・節電対策の実践についてご理解、ご協力をお願いいたします。

冬季の省エネルギー対策について

<http://www.hkd.meti.go.jp/hokpw/winter14/index.htm>

## ● HOBIA 会員著作発売のご案内

現役を離れても社会につながって、いつまでも責任を持って生きて欲しい。  
と願って会員の竹川勝雄さんが編集、監修しました。

延ばそう健康寿命  
いつまでも社会とのつながりを！

### 『シニアが拓く未来』

新刊のご案内

企業や組織で活躍されてきた方々の  
退職後を応援する『シニアが拓く未来』

本書は、退職後の人生をいかに生きるか、よりよいボランティアを考えている皆さんにお読みいただきたい一冊です。ボランティア活動に関する全国の事例紹介などを通じて、退職後の人生を心豊かに過ごすためのヒントを得ていただけるはずです。

現役の皆さんにとっては長い人生を手許に近づけ、今の仕事への励みとなることでしょう。本書をそのための手引書としてお取扱いいただければ幸いです。

### 『シニアが拓く未来』

A5判・180ページ  
1,300円(税別)

#### ・紀伊国屋札幌本店

・オンライン通販の Amazon でご購入いただけます。Amazon.co.jp

#### 【30冊以上ご購入の場合】

下記の出版社にお申込みください。送料無料でお届けします。

(株)美巧社(担当:田中一博)

FAX 087-835-7570 E-mail

[tanaka@bikohsha.co.jp](mailto:tanaka@bikohsha.co.jp)

第1章 ボランティアとは何か 歴史と社会的意味

第2章 ボランティア活動と公共的な社会

第3章 ボランティアと団体を法律面からアドバイス

第4章 世代間の連携によるコミュニティの力

方向性も強さも深さも違う民意を総意へ(被災地復興)

方向性も強さも深さも違う民意を総意へ(学校支援ボランティア)

退職者世代のボランティアが支える明日の日本

第5章 OBと現役のボランティア活動最前線

企業に関わるボランティア活動

団体に関わるボランティア活動

第6章 熟年必須の「生涯学習」と「ボランティア」

第7章 エイジレス社会実現のためのシニアの役割と未来の日本

推薦 一般社団法人シニア社会学会会長

お茶の水女子大学名誉教授 袖井 孝子

監修 一般財団法人人材支援機構 代表理事 竹川 勝雄

**HOBIAのホームページ** <http://www.hobia.jp>

NPO法人 北海道バイオ産業振興協会

札幌市北区北21条西12丁目コラボ北海道内

Tel&Fax (011) 706-1331

e-mail: mail@hobia.jp